

あすの調布

ASU no CHOFU
2017
秋号

2017年公益社団法人調布青年会議所 スローガン

伝えようこの街の魅力を ～縦と横の繋がりを生かして～

調布青年会議所 2017年度 10月例会
記念式典並びに祝賀会 「さらなる信頼から永

JCI
Junior Chamber International Japan
CHOFU



全国大会 埼玉大会

日本JCの3大会である全国大会は本年の事業の締めくくりでもあり、JCの規模やパワーを感じる場でもあります。本年は埼玉開催ということもあり、例年より多くのメンバーが埼玉の地に集結しました。金曜日の大懇親会には華原朋美さんが登場し、川端直前理事長と畑野副理事長の興奮度合いがMAXになっておりました。

土曜日の「国家フォーラム」～保守日本JCの復活～では、教育再生会議に出向している高橋裕二副議長を始めとしたメンバーが設え、保守の重鎮中の重鎮である西部邁氏を迎えて、現在の日本に対して抱いている危機感や激励を込めたような深いお話を聞く事ができました。

同日の卒業式では、卒業生5名中の4名が参加という中、ウルフルズがサプライズゲストとして登場し、大盛り上がりでした。その後のLOMナイトでは専務室の設えにより、どのLOMよりも盛り上がりつつあるのでは?と感じる時間を過ごすことができ、やはり調布のパワーは凄いと実感いたしました。

皆様のおかげで多くのメンバーと共に過ごすことができましたが、やはりメインは全国大会のフォーラムや式典であります。特に出向メンバーが設えたフォーラムには、理事メンバーを中心に、もっと大勢の出席をいただけるように導いていただき、という想いは残りました。何にせよ、出欠確認から当日アテンドまでの設えをいただいた宮澤副専務を始めとした専務室の皆様へ感謝を申し上げます。来年は宮崎大会、多くのメンバーでまた盛り上がりましょう!

監事 菅寛人



7月例会 サマーコンファレンス2017 ～サマコン横浜で横のつながりを～



7月例会はサマーコンファレンス横浜2017に参加するという事業でした。理事長の想いである横と横のつながりを強化するために横浜でサマコンに参加をし、かつ宿泊をしてメンバー同士の新たな関係構築を図りました。新しいメンバーも多くいるため、青年会議所の慣例を知るきっかけにもなりました。調布青年会議所として三大会への積極参加にもつながり、より勢いを増した形で2020年の東京オリンピック・パラリンピックを迎えたいと思います。

拡大委員長 遠藤大貴



9月例会 臨時総会



去る9月27日、調布市国領アクロスホールにて、「臨時総会」が開催されました。

例年同じ議題とはなりますが、次年度体制の人事案件等、2018年度は21名の理事が選任され、また2018年度第48代理事長予定者である増田健治君が、選任されました。2017年度と並行し2018年度も本格的に動き出します。2017年度総務委員会として、皆様の縁の下の力持ちとなるよう、残り数か月バックアップ出来ていければと思います。皆様、お忙しい所ご出席いただきありがとうございます。

総務委員会 委員長 薄井麻希子



ちょうふグローバルフェスタ

今年もちょうふグローバルフェスタを開催することができました。2014年から4回目の開催であり年々勢いを増しております。青年会議所有志と電通大生を主軸としたメンバーで実行委員会を組織し、自由にイベント構築をしています。こういった縛りが強くないイベントこそ町おこしにつながると自負していますし、サブカルチャー感を全面に出していくつもりです。2020年まで継続していくため、今後も皆様のお力添えをいただければ幸いです。

ちょうふグローバルフェスタ2017
実行委員会 遠藤大貴



調布・福島フレンドリーカップ 実施報告

7月29日～31日の3日間、調布・福島フレンドリーカップを開催しました。

高橋裕二さんを始めとする調布JCの皆さんにも2日目の昼食のBBQ及び流しそうめんのお手伝いをいただき、誠にありがとうございました。

この大会は、東日本大震災の原発事故により外で遊べなくなった福島県のサッカー少年を調布に招待し、青空の下で元気にサッカーをしてもらいたいという想いから始まった事業です。震災の年から始まり今年で7回目となりました。昨年からは東京都の被災地支援事業（スポーツ交流事業）として東京都の主催で開催しております。

今年は初めて調布のサッカー少年の自宅へのホームステイを実施するとともに、東京オリンピックの会場となる味の素スタジアムでのセレモニーやJリーグ観戦を行うなど、例年以上に交流を深めるとともに、オリンピック開催地である調布を理解していただけたことと思います。

調布・福島フレンドリーカップ 実行委員長 長谷公人



アカデミー研修委員会

アカデミー研修委員会に塾付幹事大澤君・粕谷パイセンの3人で9か月間、塾長として出向させていただきました。塾訓「裸と裸のぶつかり合い」を合言葉に一人一人の塾生と同じ目線で向き合い裏テーマである「裸で勝負できる人となれ!」を目一杯伝えていきました。メンバーの中には調布JCだけでも大変なのに、出向なんてとてもできない、またバカバカしいと思っている方もいらっしゃると思います。それは大きな間違いです。LOMだけに留まることなく、ブロックや関東地区や日本などの出向で一番成長できることは、全く氏素性の分からない青年同士が己のビジネスではなく地域や社会のための熱い議論を交わし、お互いが間合いを詰めながらぶつかり合うことにより、人としての魅力を向上させLOMや地域や仕事においてそれを最大限表現できるスキルを学ぶことにあります。JCは酒ばかり飲んでる団体だとおっしゃる方がいます。それは見方によってはそうですが、私はその様な方に言い返す言葉があります。「全く知らない方と酒も飲めない人が自分の商売相手だったらつまらないですか?その器量を身に着けた方と一緒にのほうがより良い仕事できそうじゃないですか?」と、ただ下戸の方にはこの言葉は返しません。ごめんなさいです。ということで、塾長を無事に卒業できたことで少し生意気になって帰ってきた巴山でした。来年は巴山にしかできない専務を表現し、増田次年度理事長と調布JCを支えていきたいと思っています。ご協力していただいた皆様誠にありがとうございました。

アカデミー研修委員会副委員長(塾長) 巴山勝済



アカデミー研修委員会



調布青年会議所に1月に所属し、2月から右も左もわからないまま、東京ブロック協議会アカデミー研修委員会に出向させて頂きました。

アカデミーに出向し、同じ塾に所属しただけの他ROM、他業種の方々と交流していくということに不安を感じていたのは事実です。

ですが、全7回ある全体委員会、塾会議、委員会の宿題をクリアするため、みなで話し合い、切磋琢磨していく中で、大人になって初めての経験をしました。

それはこの年齢になり、

新しい友人が増えました。しかも知り合って1年とは思えないほど、信頼できる仲間達ができました。

今回嬉しいことに、優秀賞を頂きましたが、塾のみんながいたからこそいただけの賞だと思っています。

この経験を活かし、調布の街の活性化により勤めていきたいと感じております。

拡大委員会 委員 山口隼平



新入会員紹介



さわい けい
澤井 慧くん

パーソルキャリア株式会社 シニアコンサルタント

総合人材コンサルティング会社です。主にエグゼクティブ層のヘッドハンティングを行っています。



☆家族・または趣味の紹介

妻・息子(6か月)です。夫婦ともに体を動かすことが好きなので、息子と散歩したり、味スタで行われる駅伝大会に参加しています。たけちゃんラーメンが好きです。深大寺にある時から行ってました。



先輩方が築いてきた伝統と文化を受け継ぎ、調布を更に活気のあるより良い街にしていきたいと思っています。



あらい かずひろ
荒井一宏くん

株式会社 ホビー川島 不動産 物販

PARCO所有地全体の管理、地権者幹部会議、毎月PARCOとの賃料交渉、店舗アドバイス等
PARCO 1F アフタヌーンティ店舗の監査

☆家族・または趣味の紹介

ムエタイ、ボクシング
スノーボード、スキー、ダーツ、ビリヤード



☆調布でおおすすめの飲食店

調布銀座「NIKUMIYA」旧 BARTONTON
BAR アメリカン
イルキャンティ

シニアクラスの諸先輩方含め現役JCメンバー、今までの様々な活動が調布、日本、ましてや世界のMovement原動力となっているのだと、参加しながら日々刺激を受けています、今後調布もさらなる発展を遂げて行きますが調布JCから発生するエネルギーその歯車の中で自分自身もエネルギーを出していければと思っています。

12月第二例会「卒業式」のお知らせ

今年度は5名のメンバーが卒業を迎えます。思いや在籍年数は違えど、みな明るい豊かな社会にしようとする運動をしてきた同士です。シニアクラブの先輩方をはじめ多くの方にご出席頂き、卒業生を盛大に送り出したいと思っております。当日会場にてお待ちしております。宜しくお願いいたします!!

拡大委員会 一同



宮澤 学君 (2010年入会)



清水健太郎君 (2016年入会)



畑野 政大君 (2010年入会)



大澤 宏章君 (2016年入会)



佐藤 優君 (2009年入会)



メンバーの林君からの寄付で、事務局の机と椅子が生まれ変わりました！メンバーの皆様！林君に会ったら、ハグしてあげてください。



バタータ (フットサル部)

怪我人続出のバタータ。皆忙しく集まることもままならず、今後の活動が危ぶまれる中、新たな旋風がマロンテラスに吹き付ける。その者の正体は社協、そう調布市社会福祉協議会。8月30日の夜は、まさに調布青年会議所にとって「絶対に負けない戦い」がそこにあった。コート上はまさしく死闘が繰り広げられ、ある者は失点の悔しさに嗚咽を漏らし、またある者は得点に歓喜の雄叫びをあげ、とても楽しいフットサル交流ができました。

部長 大澤宏章



出産おめでとう!!



7月18日に、女の子を出産しました。陣痛が痛いという事を知らずに出産に挑み、強烈な痛みで本当に驚き死ぬ思いで出産しました。

今は我が子の可愛さと成長して行く姿に毎日感動し、分娩の痛みは忘れ、痛かったという事実だけ覚えています。

これからは子育てを楽しみながら、親として子供と一緒に成長して行きたいです。

総務委員会2017 委員 境屋奈央子



当時の思い出映画

さて11月25日は女性に対する暴力撤廃の国際デー
(東京タワーでもパープルライトアップが実施されています)に因みこの映画を取り上げます。

サラエボの花(2006)

当時の感想

試写会あったどーラッキー→無知でノー天気のまま観る→無知なことに反省。

概要

「わたしの父さんて誰？」

サラエボに住むシングルマザーのエスマは12歳になる娘サラと2人暮らし。

サラの修学旅行が近づくためなんとかお金を工面しようと必死です。

サラは父親の戦死証明書があれば旅費が免除されると知り、母エスマに証明書を出すように頼んでも、彼女は戦死した場所がわからないと父のことをごまかしますが。

当時驚いたのが、舞台になっているこのボスニア・ヘルツェゴビナ紛争(1992-95)がつい最近の話であるということ。(日本ではどんな報道がされていたんでしょうね。)

私は紛争の始まり時11歳なので、娘のサラとほぼ同じ年齢です。生意気盛りで、反抗的で、でもいろいろな事に興味がある。母の苦悩なんて解っていても知らないふりをしてしまう。

主人公エスマは紛争の際、収容所に入れられ「民族浄化」の名の下、繰り返し暴行を受け続ける中、妊娠をし強制的に出産させられたレイプ被害者です。

実際ボスニア紛争時のレイプで生まれた子供たちは現在「見えない子供たち」と呼ばれているそうです。

戦争でいつも犠牲になるのは非戦闘員であり、女性・子供たちで、その後の葛藤と苦労と紛争が終わった後、被害者たちが通常の生活に戻れるでしょうか

現実にはあまりにも理不尽で残酷です。簡単に乗り越えることは出来ません。

それでも事実を知った後、ラストのシーンで乗り越えようとする母子が飾り気なく描かれていて少しだけ救われた気がしました。

テーマが重すぎますが、無知に慣れすぎず、少しでも知ろうと努力すること。

「民族」という、不完全なものを自分たちに都合のいいように美化して崇めると、こういった悲劇がおきてしまうのだと感じました。おしまい

薄井 麻希子



理事長コラム

すっかり涼しくなり紅葉が綺麗な秋になろうとしています。気が付けば今年度もあと3か月。あっという間に駆け抜けた1年と思いきや、振り返ってみると思い出に残ることをたくさん経験し、緊張して臨んだ1月の新春地域懇談会は遠い昔のように感じます。

改めて言うわけではありませんが私の本業は造園業です。基本、外で仕事をするため季節の移り変わりとともに服装や仕事の内容が変わります。青年会議所に入会して7年。気が付けば季節の移り変わりとともに一年間のJC運動も毎年同じようなサイクルで動いていました。

一年のJC運動の始まりを告げる各地の賀詞交換会、京都会議がスタートする冬は、寒さに耐える為、暖かい防寒着と作業着の下に何枚も服を着て仕事をします。春になり気温が上がり植物の芽が吹き始め、桜の花が散り終わると各地で草刈の仕事が始まり植物の成長とともに仕事が忙しくなります。この時期には年度の事業が動き始め、毎年恒例のわんぱく相撲が5月に市内で開催されます。さらに気温が上がり、暑さが厳しくなりと作業着は薄着になり、水分補給用の水筒を持参し、熱射病に注意を払うような夏になると各委員会は例会を一度経験しほっと一息。日本青年会議所三大イベントの1つサマーコンファレンスが毎年横浜で開催されます。夏の厳しい暑さを超え、夏に伸びた樹木の剪定を考える季節になると毎年全国大会が開催され、各地で次年度理事長が決まり次年度の準備が少しずつ始まります。

気が付けばこんなサイクルを7年間も過ごしてきました。1年も7年も動いているときは必至であっという間に過ぎてしまう一方、様々な経験をしています。先輩たちも同じだったのでしょうか。今年もあっという間に過ぎてしまう1年のサイクルを次年度に引き継げそうです。

第47代 理事長 瀧柳伸央



明日の調布について

みなさん、こんにちは。あすの調布編集長兼記事校正者兼etcの薄井です。まずはもって、あすの調布発行が遅くなり申し訳ございません。どんな言い訳をしようと総務委員会委員長の私の責任があります。あと1号満足出来るようなあすの調布を目指します。引き続き、ご協力お願い致します。

あすの調布編集長 薄井麻希子



www.chofu-jc.jp